第20回高知県がん対策推進協議会　議事録要旨

１．日時　　　平成28年３月28日（月）　19：30～20：30
２．場所　　　県庁２階　第二応接室
３．出席者　　協議会委員　16名（2名欠席）、オブザーバー、事務局　4名
４．議事　　　（1）第2期高知県がん対策推進計画の取組について
　　　　　　　（2）平成27年度患者満足度等調査について
　　　　　　　（3）全国がん登録について
５．議事概要

会長の議事進行により、以下の事項について、事務局から資料について説明が行われた。委員からの主な意見は次のとおり。

≪（1）第2期高知県がん対策推進計画について≫

①がんの年齢調整死亡率

がんによる死亡率が下がっていることについて、全国レベルでの高知県の順位について委員から質問があった。事務局からは、平成26年度の高知県の順位は全国26位との報告があった。

②がん予防早期発見の推進

胃内視鏡検査のがん検診での実施について委員から質問があった。また、他の委員からは、日本消化器がん検診学会認定医の資格を持つ医師が少ないことなど、胃内視鏡検査を直ちに進めるには厳しい高知県の現状について説明があった。事務局からは、平成29年度の導入に向け、平成28年度は胃内視鏡運営委員会を開催し、検診体制を確立していくとの説明があった。

③がん患者等への支援

県作成の各種冊子について、県の公開ホームページに掲載する場合、掲載先のURLを冊子にも記載してほしいとの意見が委員からあった。事務局からは、次回作成時、改訂時からは記載するとの回答があった。

≪（2）患者満足度等について≫

①就労について

がんに罹患し、離職による経済的な問題や職場復帰の難しさについて、委員から意見があった。事務局からは、就労支援については、国のガイドラインにより労働局と医療機関が連携して取り組むことになっている。平成28年度からは、労働局と県拠点病院である高知大学医学部附属病院が連携して取組を行うことについて説明があった。

②資料２の就労に関する質問（39ページ、48ページ）の回答状況について、「回答なし」の割合が高いこととその原因について委員から質問があり、事務局からは、今後分析予定との説明があった。

≪（3）全国がん登録について≫

①歯科診療所が指定医療機関として全国がん登録に協力できる範囲について、委員から質問があった。事務局からは、医師ががんと確定診断を行った場合に必ず届出が必要になることについて説明があった。

②がん登録へのマイナンバーの利用について委員から質問があった。事務局からは、マイナンバーをがん登録に使用する予定はないとの説明があった。

③がんの診断日について、病理検査日や検査結果が出た日等のどの時点になるかについて委員から質問があった。事務局からは、全国の病院に配布されている、全国がん登録マニュアルに診断日の考え方も含め、一定の情報が掲載されていることについて説明があった。

④同一人物が、複数のがんを発症した場合の届出について、委員から質問があった。事務局からは、原発がんであれば、その発症したすべてのがんについて届出が必要となるとの説明があった。

以上をもって議事全部を終了、20時30分に閉会。